

福井工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	英語Ⅳ
科目基礎情報					
科目番号	0042	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位 B : 2		
開設学科	機械工学科	対象学年	4		
開設期	通年	週時間数	前期:2 後期:2		
教科書/教材	『Science in Our daily Life』、『TOEIC TEST Listening 650』、『データベース4500 : 5th Edition』、『即戦ゼミ 1 1 大学入試 ベストポイント英語頻出問題 7 4 0 最新三訂版』				
担当教員	森 貞				
到達目標					
(1) やや高度な英語で書かれた理系英語文章を読み、その概要を把握し、必要な情報を読み取ること。 (2) 日常生活や身近な話題、理系の話題に関して、英語で簡単に表現すること。 (3) 高等学校学習程度の英文法、語法に加え、基本的な理系の表現を習得すること。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 聴解力	辞書や文法書等を活用しながら、与えられた英文を読み、ほとんどの内容について理解することができる。	辞書や文法書等を活用しながら、与えられた英文を読み、その内容について大体理解することができる。	辞書や文法書等を活用しながら、与えられた英文を読んでも、その内容をほとんど理解することができていない。		
評価項目2 英文読解力	辞書や文法書等を活用しながら、与えられた話題について、まとまりのある内容を適切な英語で表現することができる。	辞書や文法書等を活用しながら、与えられた話題について、まとまりのある内容を一通り英語で表現することができる。	辞書や文法書等を活用しても、与えられた話題についてほとんど表現することができていない。		
評価項目3 英語表現力	与えられた課題を期限内に取り組み、その内容について8割以上の習得が見られる。	与えられた課題に取り組み、その内容について6割以上の習得が見られる。	与えられた課題を期限内に取り組み、その内容について6割未満である。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 RC1 JABEE JC1					
教育方法等					
概要	(1) やや高度な英語で書かれた理系英語文章を読み、その概要を把握し、必要な情報を読み取ること。 (2) 日常生活や身近な話題、理系の話題に関して、英語で簡単に表現すること。 (3) 高等学校初級程度の英文法、語法に加え、初歩的な理系の表現を習得すること。				
授業の進め方・方法	授業は家庭学習を前提とし、四技能（スピーキング・ライティング・リスニング・リーディング）および文法・語彙を習得するための練習を多く取り入れ、言語知識の取得と運用能力の向上を目指す。				
注意点					
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 英語学習法について		
		2週	Unit 1	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。	
		3週	Unit 2	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。	
		4週	Unit 3	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。	
		5週	Unit 4	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。	
		6週	Unit 5	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。	
		7週	第1回文法・単語テスト		
		8週	前期中間確認		
	2ndQ	9週	Unit 6	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。	
		10週	Unit 7	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。	
		11週	Unit 8	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。	
		12週	Unit 9	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。	
		13週	Unit 10	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。	
		14週	第2回文法・単語テスト		
		15週	前期末試験		
		16週	前期末試験返却・解説		
後期	3rdQ	1週	Unit 11	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。	

4thQ	2週	Unit 12	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。
	3週	Unit 13	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。
	4週	Unit 14	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。
	5週	Unit 15	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。
	6週	第3回文法テスト	
	7週	第3回単語テスト	
	8週	後期中間テスト	
	9週	Unit 16	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。
	10週	Unit 17	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。
	11週	Unit 18	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。
	12週	Unit 19	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。
	13週	Unit 20	内容が理解できる。英文が正確に発音できる。演習問題が解ける。
	14週	第4回文法・単語テスト	
	15週	後期期末試験	
	16週	後期期末試験返却・解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	定期試験	文法・単語テスト	テキスト小テスト	合計
総合評価割合	55	20	25	100
基礎的能力	55	20	25	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0